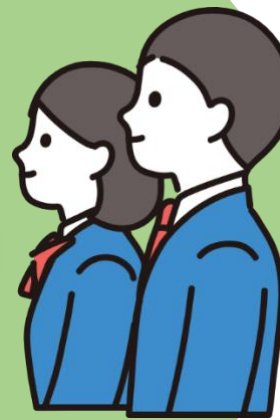


森万喜子先生講演会

「子どもが主語」の



学校へようこそ!



2026年

6月22日(月)

15:00-16:30

県立飾磨工業高等学校
新館4F大講義室
(姫路市飾磨区細江319)



文部科学省 CS マイスター
森 万喜子 氏

先着100名程度

姫路に「ブルドーザーマキコ」がやってくる!

ごじゃ、楽しみやんけっ!!

(播州弁で「とても楽しみだね!!」)

主催:兵庫県立飾磨工業高等学校



森万喜子先生講演会「子どもが主語」の学校へようこそ!

兵庫県では今年度(2026年度)から、全県立高校・特支学校で地教行法によるコミスクと合わせて「兵庫県版コミュニティ・スクール」がスタートします。本校でも「県版コミスク」を取り入れた教育活動を推進するための準備に取り掛かっています。今後は、「地域とともにある学校」と「学校を核とした地域づくり」を掛け合わせることで、地域住民にとっても、本校の生徒・教職員にとっても「Win-Win」の関係となるような取組みが求められます。

また本校は、基礎学力の低さや発達障害などの特性、ヤングケアラーなどの家庭の事情を抱える多様な生徒たちが在籍しています。教職員は生徒一人ひとりに寄り添い、教科指導と生徒指導を工夫しながら、生徒の人間性・キャリア形成を担っています。

そこで今回は、森万喜子先生を講師に迎えて、森先生が提唱する「子どもが主語」の学校づくりやコミュニティ・スクール運用のスタートアップについて、参加者が学び合う機会とします。

- 主催： 兵庫県立飾磨工業高等学校
実施日時： 令和8(2026)年6月22日(月) 15:00から16:30
実施会場： 本校 新館4F 大講義室(姫路市飾磨区細江319)
講師： 文部科学省CSマイスター 森 万喜子 氏
講演テーマ： 著書『「子どもが主語」の学校へようこそ!』に関する内容
コミュニティ・スクール(学校運営協議会)スタートアップについて
参加対象： 本校多部制及び全日制教職員・PTA・学校運営協議会委員を含む地域住民
近隣の学校関係者や保護者、地域住民(約100名): 計 約250名
参加申込み： 指定のGoogleフォームから申込む(先着順)
問合せ先： 兵庫県立飾磨工業高等学校(多部制) 主幹教諭 土井
TEL:079-235-1951(内線2→2→2) MAIL:doi_m@hyogo-c.ed.jp



森 万喜子(もり まきこ) 氏

1962年 北海道生まれ。人生初の教育機関、幼稚園を不登園の末中退(自称 不登校のパイオニア)。北海道小樽市で小中高等学校時代を過ごし、北海道教育大学札幌校特別教科教員養成課程で美術(油彩画)を専攻する。

教員歴： 千葉県千葉市で5年勤務後小樽市へ、中学校美術教員、その後教頭(7年)・校長(7年)。2023年3月まで公立学校で勤務する。

現在： 文部科学省総合政策局CSマイスター(2024年～)・文部科学書学校DX戦略アドバイザー(2023年～)・青森県教育改革有識者会議副議長(2023年8月～)・北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター研究員・長沼町教育委員会部活動地域移行コーディネーター・他、自治体や学校の教育アドバイザー業務、教育行政や民間団体、学校等で講演、研修講師多数

特技： 前例踏襲の破壊。同調圧力の無視。「もっといい方法ってない?」と改善するのが好き。

ニックネーム： ブルドーザーマキコ

R3年兵庫教育大学教職大学院教育政策リーダーコース修了、日本教育新聞、月刊教職研修、みんなの教育技術、週刊教育資料、東洋経済Education×ICT等に執筆。

教育以外では、猫山たび子というふざけた名前で北海道新聞等でコラム執筆

書籍： 2021年9月 学校と社会をつなぐ!(学事出版)

2022年3月 校長の挑戦(教育開発研究所)

2024年1月 「子どもが主語」の学校へようこそ!(単著、教育開発研究所)

2026年1月 不登校を見つめなおす32の問い(千葉孝司氏と共著、学事出版)

好きなもの： 猫、レトロな町やアート、民藝に触れる旅、本と文房具、手仕事

